

娘がピアノを習っています。なんて高尚な！と思われるでしょうが、先日もらってきた課題曲のタイトルを見てたまげました。曰く「土人のおどり」。土人て。今の時代そんな言葉使ってよいのでしょうか。そしてこれが聴いてみるとまさに土人のおどり。作曲者の言いたいことはよく分かってしまったりして、ああ自分、IAT やったら確実に何か出るな—と思った次第。IAT が何かってのは『心理学ワールド』をご覧の皆さまなら分かりますよね。分からなかったらご自分で確かめくださいってのが本連載です。

それでなんでしたっけ。愛は地球を救うか。いや土人問題なんですけど、違う文化圏の人がやることって、端から見ると意味がわからなかったりしますよね。恐ろしい仮装をして子どもを泣かせてみたり、派手な車の上でコンチキチンと音楽を奏でてみたり。エンジンないからみんなで縄で引っ張って、ハンドルも無いもんだんから力づくで方向転換させてまで市中を引き回したり。

中には体中にピアスをするなんてお祭りもあるそうで。タイプーサム・カバディというお祭りなんですけど、写真で見るととっても痛そう。なんでこんなことするの？と思ったのでしょうか、Xygalatas (シガラタス?) さん、参加者にきいてみたんだそうです。ヒンドゥー教をどれくらい信仰してますか？とか、お寺にはどれくらいよく行きますか？とか、じつはピアスは痛かったですか？とか。せっかく大事なお祭りの最中にご協力いただいたのですから、御礼(お金)を差上げたのですが、質問コーナーの出口に「お寺への寄付」ってのが準備してあった。良かったら、お渡しした御礼から心ばかりのご寄付ってことですね。なるほど。でも実はこれこそが知りたかったこと。寄付をたくさんしてくれるのは誰だろう？

ボディピアスをした直後の人は寄付額が多かったそうなのです。何もみんながみんなピアス



をするわけじゃない。お祭りにはみんなでお祈りするって行事もあって、でもお祈りだけの人たちよりも、ピアスをした人のほうが寄付額が大きい。だいたい1.5倍くらい。その上、ピアスパフォーマンスを見てただけの人まで寄付額が大きくなって(2倍くらい)。さらにですね。「正直、ピアスは痛かった」とか「見てて、すごく痛そうだった」って答えた人ほど寄付額が多いんですって。もちろん分散分析だってバリバリ有意です。なんでやねん。

ええとそれでなんでしたっけ。愛は地球を救うか。いやまあ、そんな、たぶん地球は自分の皮の上で微生物がなにやってたって、痛くも痒くも無いんじゃないかと思うんですけど、どうでしょう。

追記 ナカムラ先生から「どうもうちのハトが勘違いをしているようなので」とご連絡をいただきました。「エビパズルでは、外れた時もエサをあげたはずなのですが……」(意識)。まったくハトの適さには呆れます。嘘ですすみません。翻訳者の間違いでした。訂正して謝罪いたします(ヒヨコについてのコメントなどもいただいたのですが、そこらへんは本号40ページに紹介のご著書をどうぞ)。



Profile — 平石 界

東京大学大学院総合文化研究科博士課程退学。東京大学助手・助教、京都大学助教を経て、2012年4月より現職。博士(学術)。専門は進化心理学。